

# 2015 FORMULA 4 CHAMPIONSHIP Paddock NEWS

国内唯一、開発競争のあるフォーミュラカテゴリーF4の魅力 Vol.3

## EAST SERIES ROUND 3

●5/23日 ●スズカ・SUZUKA ●朝日・F3イ ●15歳

Pos	No	Gas	Driver	Machine	Type	Time/Gap
1	11	A1	牧野任祐	DODE・新機軸・ユーニコー	KK-ZS	+20'2'970
2	14	C	根本悠生	GUNZE ZAP F108	F108	+2'374
3	10	C	加藤 智	FEEL-RK01-TODA	RK01	+17'323
4	12	A1	末岡達也	佐藤製作所L3MKZ25新機軸	KK-ZS	+16'132
5	72	C	金井秀志	チームANATS-正義001	NATS001	+20'321
6	3	C	中山隆佳	HITACHI BM RK01	RK01	+31'841
7	4	C	佐々木雄一	日産DayOverF108	F108	+11'0'871
8	27	C	SYUJI	B-MAX-RK01-TODA	RK01	-5.4p

## EAST SERIES ROUND 4

●5/24日 ●スズカ・SUZUKA ●朝日・F3イ ●15歳

Pos	No	Gas	Driver	Machine	Type	Time/Gap
1	11	A1	牧野任祐	DODE・新機軸・ユーニコー	KK-ZS	20'11'740
2	14	C	根本悠生	GUNZE ZAP F108	F108	+12'105
3	12	A1	末岡達也	佐藤製作所L3MKZ25新機軸	KK-ZS	+18'755
4	10	C	加藤 智	FEEL-RK01-TODA	RK01	+18'924
5	72	C	金井秀志	チームANATS-正義001	NATS001	+19'956
6	4	C	佐々木雄一	日産DayOverF108	F108	+11'3'726
7	27	C	SYUJI	B-MAX-RK01-TODA	RK01	-5.4p
8	3	C	中山隆佳	HITACHI BM RK01	RK01	-5.4p

## WEST SERIES ROUND 2

●5/27-28日 ●鈴鹿サーキット ●朝日・F3イ ●10歳

Pos	No	Gas	Driver	Machine	Type	Time/Gap
1	11	A1	牧野任祐	DODE・新機軸・ユーニコー・MYST-85	KK-ZS	20'48'011
2	5	A1	河野諒也	ヤマザン・MYST-KK-ZS	KK-ZS	+10'872
3	10	C	加藤 智	FEEL-RK01-TODA	RK01	+12'181
4	3	C	金井秀志	B-MAX-PARABOLEエンブレ	RK01	+21'222
5	72	C	金井秀志	チームANATS-正義001	NATS001	+26'939
6	12	A1	末岡達也	佐藤製作所L3MKZ25新機軸	KK-ZS	+31'510
7	77	A1	久保菜実	オートレック・MYST・新機軸KK.A.K.A.	KK.A	+42'267
8	44	A2	藤田光史	東海電設工業・Eagle	WEST056	+49'558
9	46	A2	入道賢典	アストロ・フジタレーシング・FRD	WEST956	-5.4p
10	70	C	根本悠生	ヤマザン・新機軸・ユーニコー・MYST-85	KK-ZS	-2Laps
11	36	A1	藤田和也	Hi-SPORTS・新機軸MYST0KZS	KK-ZS	-9Laps
12	37	C	高 穂子	B-MAX-RK01-TODA	RK01	-10Laps

## WEST SERIES ROUND 3

●7/26日 ●岡山国際サーキット ●朝日・F3イ ●15歳

Pos	No	Gas	Driver	Machine	Type	Time/Gap
1	11	A1	牧野任祐	DODE・新機軸・ユーニコー・MYST-85	KK-ZS	23'23'043
2	5	A1	河野諒也	ヤマザン・MYST-KK-ZS	KK-ZS	+0'090
3	28	C	山本義隆	Team EAGLE	ZAP F108	+10'243
4	72	C	金井秀志	チームANATS-正義001	NATS001	+16'979
5	12	A1	末岡達也	佐藤製作所L3MKZ25新機軸	KK-ZS	+22'564
6	3	C	金井秀志	B-MAX-PARABOLEエンブレ	RK01	+25'044
7	51	A2	藤田光史	フジタレーシング・モーター・EAGLE	WEST956	+56'988
8	7	A2	山本義隆	EAGLE・フジタレーシング・EAGLE	WEST056	+104'082
9	70	C	根本悠生	ヤマザン・新機軸・ユーニコー・MYST-85	KK-ZS	+110'908
10	43	C	村瀬光史	E-NEEDS・新機軸・ユーニコー・MYST-85	R&D 10W	+124'478
11	37	C	高 穂子	B-MAX-RK01-TODA	RK01	+134'895
12	95	A2	佐藤賢介	KRS&N・ジャンパー・ANDARE-976	WEST976	-2Laps

## WEST SERIES ROUND 4

●7/26日 ●岡山国際サーキット ●朝日・F3イ ●15歳

Pos	No	Gas	Driver	Machine	Type	Time/Gap
1	11	A1	牧野任祐	DODE・新機軸・ユーニコー・MYST-85	KK-ZS	23'12'005
2	5	A1	河野諒也	ヤマザン・MYST-KK-ZS	KK-ZS	+0'838
3	72	C	金井秀志	チームANATS-正義001	NATS001	+20'155
4	12	A1	末岡達也	佐藤製作所L3MKZ25新機軸	KK-ZS	+26'339
5	43	C	村瀬光史	E-NEEDS・新機軸・ユーニコー・MYST-85	R&D 10W	+11'0'114
6	7	A2	山本義隆	EAGLE・フジタレーシング・EAGLE	WEST056	+11'1'043
7	70	C	根本悠生	ヤマザン・新機軸・ユーニコー・MYST-85	KK-ZS	+12'0'082
8	37	C	高 穂子	B-MAX-RK01-TODA	RK01	+12'1'711
9	3	C	金井秀志	B-MAX-PARABOLEエンブレ	RK01	-12Laps
10	51	A2	藤田光史	フジタレーシング・モーター・EAGLE	WEST956	-12Laps
11	28	C	山本義隆	Team EAGLE	ZAP F108	-14Laps

右：牧野を追いひたり、太田。毎レース、激戦り争いを繰り返す。下左：岡山でスポット参加した藤本は第3戦でA2クラストップに輝く。下右：牧野同様、東西を駆け回り、西日本第4戦で今年初の3位表彰台に立つ。



第3戦の決勝は牧野がスタートを決め、根本が追う展開だった。第4戦に備えてか、牧野はここで無理せず、中盤にファステストラップを連発して根本を引き離すと、その後は根本のペースに合わせてフィニッシュする余裕ぶりだった。

第4戦では絶妙のスタートを根本が決め、牧野をしたがえたものの、トップを1周守り抜くことは許されなかった。「ヘアピンですごくいいところかと思いましたが、思いのほか汚れていて、あわやコースアウト。それでもついていけたので、すぐ馬の背で抜きました」と牧野。そこから先は完全にひとり舞台。最後は根本に12秒もの大差をつけた。第3戦は3位となった加藤も単独走行だったが、第4戦はスタートで前に出た太田連也、加藤、そして金井亮志による激しい3番手争いが演じられた。最後はゴールラインを横一列で駆け抜けたが、僅差で太田が3位を

獲得。また牧野のチャンピオンもここで早々と決定している。「まだ5月ですし、チャンピオンの実感は全然なくて、むしろ余計なことを考えず、フッシュして走れたことの方が印象深いです」と語っていた牧野が、続いて挑んだのは鈴鹿のフルコースが舞台となった西日本シリーズの第2戦だった。

ここでの焦点は、昨年のスーパーFJで牧野と互角に渡り合った河野諒也がスポットで挑んできたことだ。予選で河野は計測1周目にトップに立つも、慣れぬマシンに手を焼いていた。結局、5番手に甘んじたのに対し、牧野は2番手の加藤に1秒の差をつけポールポジションを奪う。決勝ではスタート巧者の加藤に先行を許した牧野だが、少しも焦りを感じさせず、2周目の1コーナーでトップを

奪い返すと早々に独走優勢へ持ち込んだ。一方、激しく追い上げて2位でフィニッシュした河野は、終盤には牧野と遜色ないラップタイムで走行していただけに、マシンの習熟がもう少し早かったなら……とささ思っていた。

西日本シリーズ第3・4戦も岡山でダブルヘッダー大会を開催。ここで話題を一手に集めたのは、全日本カート選手権でも活躍中で、このレースウィークに16歳になったばかりの飯口晴南だ。近年にない鳴り物デビュリーとなったが、そこは先輩の意地を牧野が予選で見せつけた。1分31秒台に乗せるのがやっとだった飯口に対し、牧野はファースト、セカンドともベストタイムは30秒台に入れて1秒引き離したのだ。ただ、いきなりベテラン金井の前に割り込んで入ってきた飯口も、やはり大物ぶりをうかがわせる。そのタイム差であれば決勝でも独走と思いきや、第3戦では牧野が飯口に

対して5秒差の勝利。だが、これも東日本シリーズの第3戦同様、次のレースを見越してセーブし続けていたからだ。それを証明するかのように第4戦では約10秒差の圧勝。途中、長く黄旗が出ていたため、それがなければさらに差を広げたことだろう。この勝利で牧野は西日本シリーズでも王座を決めた。2位は2戦とも飯口で、3位は片山義隆と金井が分け合った。東西ともに残すは1戦、二冠王の牧野は果たして全戦制覇できるのか。大記録達成に期待がかかる。



上：西日本第3-4戦を走った「新星」飯口は同レースで2位表彰台を獲得。下：牧野を中央に「新星」河野、ベテラン加藤が追いついた。

## EAST SERIES ROUND 3-4 & WEST SERIES ROUND 2-4 怒涛の連勝を重ねる牧野

何十年に一度かの逸材とささやかれる牧野任祐が東西シリーズを圧倒するに東西ともに第4戦終了段階でダブル王座を獲得した。ただ、それに呼応して「新星」も現れ、今年はシリーズ全体のレベルが上がっている!!

Text: はたのりゆき (Naoyuki Hata)  
Photo: 佐々木雄一 (Junya Sasaki) / 米屋有正 (Yuzo Yoneshige) / 高木穂子 (Shoko Takagi)



左：西日本第2戦Aクラス表彰台に上がったジェントルマンドライバースの久保と藤田。上：第4戦はリタイアながら、第3戦では金井を抑えて3位に入った「新星」河野。